

学校だより

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和3年度 第10号
2021.6.7発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 本校におけるリスク対応について ◆◆

これから熱中症が心配される時期に突入します。一方、インド型・ベトナム型といった変異ウイルスが国内で伝播する危険性が注目されています。学校としては以下の基本姿勢を共通認識として確認したいと思います。

なお、文部科学省のいう十分な身体的距離（最低1m）については、授業中においては確保しきれないので、本校においては、授業中は、マスク着用が原則になってしまいます。

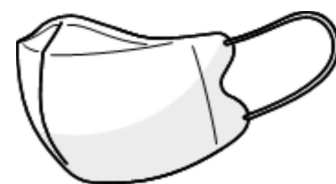
<登下校での熱中症対策>

1. マスクは登下校時には着用しなくても可とします。
(特に、階段での着用は熱中症対策にかかわらず、不要としています。)
(マスクをしない時には、友達との会話は基本的に控えます。)
2. 日傘・雨傘をさしながらの登下校も許可します。
3. 登下校の途中でも、安全な場所であれば水分を自分の判断でとって構いません。



<校内でのリスク対応の基本は以下の方策ですが……>

1. 感染源を断つための体調不良者の早期発見（健康観察記録表等）に努めます。
2. こまめな手洗い、マスクの着用、こまめな換気が、基本となります。



<熱中症を勘案したリスク対応に切り替えていきます。>

1. 夏場は常時換気を心がけ、換気を徹底し「密閉」を回避します。
2. 多数が集まる「密集」を極力避けます。
3. 身体的距離が十分とれないときはマスクを着用します。十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。
4. 暑さ指数（WBGT）を観測し、高い日は外遊びを中止し、校内においてはエアコンを必須とするとともに、息苦しさを感じる児童においては、会話を控える指導の上、マスクを外させます。
5. 感染症リスクが悪化せず、現状程度で続く限り、熱中症への対応を基本的には優先させます。
6. 体育の授業においては、マスクの着用は必要ありません。ただし、十分な身体的距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合（説明を聞く、グループでの話し合いの場面等）には、マスクを着用するよう指示します。
7. 各教科共通で、児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワークや、近距離で一斉に大きな声で話す活動、近距離で行う合唱や管楽器演奏、近距離で活動する調理実習、児童が密集する運動、組み合ったり接触したりする運動等は、リスクが高いため控えます。
8. 人権の配慮（いじめが起きないような配慮）に努めます。
9. 中休み・昼休みは校庭での活動を認めます。一輪車・遊具の使用を許可します。内遊びは密にならないように指導します。遊びから戻ったら手洗いをしっかり行わせます。
10. 放課後の校庭開放も実施します。
11. 掃除は現時点では、マスク着用で行います。机運びはしません。床は掃き掃除のみとします。床拭きが必要な場合は、モップを利用させます。
12. 給食は前向きのまま、机の移動はしません。身支度（エプロン・三角巾・マスク等）の確認をし、準備はおしゃべりをせず、マスクを着用させます。食事中はマスクを外しますが、おしゃべりはしません。食事後はマスクをしての会話はしてもよいとします。
13. 放課後サポート教室は、非常事態宣言下では中止していましたが、感染防止に努めながら今学期は基本的に実施する予定です。
14. 夜間および休日の体育館・校庭の開放については、町（生涯学習課）の指示に従って行います。
15. 校庭開放については、町の他校と足並みをそろえた対応といたします。

◆◆ 6月2日、5年生が田植えを実施しました。 ◆◆



田植えは1クラスずつ行いました。田起こしの後、指導して下さる さんが、耕運機をかけて、水を張って、田んぼをきれいに整えてくださっていました。5月5日に種まきをしたという「満月」という品種の苗も、児童のために用意して下さっていました。児童はその苗を4～5本を目安に、2～3cmの深さに間隔を空けて植えます。児童は足の裏に田んぼの感覚を存分に感じながら、田植えを経験していました。放課後立ち寄ってみると、写真のように苗がきれいに植わっていました。今後の成長がとても楽しみです。

◆◆ 給食調理員の さんが、6月9日をもってご退職になります。 ◆◆

児童の給食づくりにご尽力いただいた 調理員ですが、ご退職なさることになりました。今までおいしい給食づくりにご尽力いただきありがとうございました。

◆◆ 平成元年2月に行った「葉山まちづくり協会」のアンケート結果を紹介します。 ◆◆

以下長柄小学校児童の回答結果を紹介していきます。

- ・「葉山まちづくり協会って聞いたことがありますか？」→ある22%
- ・「葉山まちづくり展に来たことがありますか？」→ある7%
- ・「葉山の宝はなんですか？（低学年）」→海（6割）・山（4割）友達・家族、長柄小、上ノ山公園
- ・「同（高学年）」→自然（海・山・川・景色・豊かさ）、長柄桜山古墳群、友達・家族、葉山コロッケ、御用邸

長柄小学校以外の答えも概ね同じような結果だったそうです。集計後の総評を抜粋して紹介します。

「葉山の子どもたちにとってのイチオシの宝は、葉山の自然であり、海と山の比率は2対1ぐらいであった。次に川や空気が続いていた。それでこそ葉山だ。大きな発見は、3番目くらいに多かったのが、「友達・家族」に代表される「葉山の人」を宝だと思っている児童・生徒がいたことだ。町民として誇りに思えた。」

◇◇ GIGA スクール構想 長柄小学校編パート11 ◇◇

各学年の5月末までのChromebook利用状況をまとめてみました。

3学年：先生方作成のロイロノートのテストカードに挑戦したり、クラスルームのドキュメントでの共同編集に挑戦したりしました。理科専科で教師が検索し提示を行いました。

4学年：学年全体ではタイピングソフト「キーボー島」というソフトを活用し、学年の力を高めています。また、クラスによって、ロイロノートの利用や、クラスルームのドキュメントでの共同編集に挑戦したりしました。理科専科で教師が検索し提示を行いました。

5学年：英語・理科といった専科の先生方が、録音やリスニング、クイズ・テスト機能を使って日常的に活用が始まっています。発芽の様子を写真に収めメモとともに提出など活用が進んでいます。学年でも、社会の授業でロイロノートをテスト活用したり、グーグルクラスルームを通して共同編集体験等が進められています。壁紙のカスタマイズも行われました。

6学年：英語・理科・家庭科といった専科の先生方が、テスト機能や検索機能・写真機能等を活用し、ロイロノートで多くの実践を行っています。各個人からの提出物が寄せられています。

といったように、専科の先生方の実践が始まるとともに、学年の先生方の間でも協力し合って、グーグルアプリ群や、ロイロノートを活用した準備や実践が始まっています。月末には、ロイロノートの活用を中心に、全員参加の研修会が開かれます。日々の積み重ねと、研修でのブラッシュアップを通して、よりよい活用方法を学校として探り当てていきたいと思えます。今まで職員室ではChromebookを使うことができなかった課題点も、6月14日の工事で解消します。意識の上で、長柄小学校の先生方に臆することが見られないことが頼もしく感じています。先生方の中から自信のある活用方法が生まれてくる予感がしています。他校でも1・2学年における活用事例が報告されました。低学年の上手な活用を含め、夏休み前にはさらに利用状況が進んでいることと思えます。月末の研修会が待ち遠しく感じています。